

# 平成23年度高鍋町事務事業評価表

## ◎事務事業の概要

事務事業名	地域用水機能増進事業費		基本目標	農業生産基盤の整備			
担当課(局)・係	産業振興課	農村整備係	記入者	長友和也	評価者	長町信幸	開始年度 年度
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください						
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)					

## ◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	用水路の健全な機能発揮のために事業を行うものである。									
	意図・目的	用水路としての機能維持に合わせて、住宅地を流れる水路として親水性を持たせた維持管理を行う。									
事業の内容	地域用水対策協議会への補助金を通して適切な維持管理に努める。										
主な支出項目	22年度決算額	222,625	千円	23年度予算額	257	千円	事業従事者数	H22 0.05	人	H23 0.05	人
	需用費	2,625	千円	国庫支出金		千円	22年度人件費	360 千円			
	補助金	200,000	千円	県支出金		千円	23年度人件費	357 千円			
			千円	地方債		千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23)		100.0	%	
			千円	一般財源	257	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください				
町の補助事業	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名		地域用水維持管理活動費補助金					
	補助交付団体			高鍋町地域用水対策協議会		補助金要綱		作成中			
	22年度	補助額	220,000	円	補助の形態	運営費補助	23年度補助額	220,000	円	終期	年度
		団体の決算額	220,000	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等						
		補助の割合	100.0	%	水路の維持管理は、良好な住環境の維持にも役立っており、今後も継続していく必要がある。						
繰越額		0	円								

## ◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか	
	1 補助金の履行確認	地域用水協議会への補助金が目的どおり適切に履行されているか監督する。	
	2		
	3		
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に	
	1 補助金の履行確認	補助金の用途について監査する。	
	2 作業状況の確認	協議会で開催される作業状況を現地にて確認する。	
	3		

## ◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度
成果指標	補助金の履行確認	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標	補助金の履行確認	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
	作業状況の確認	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!

事務事業名	地域用水機能増進事業費	担当課(局)	産業振興課
-------	-------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	
		自己評価	委員評価
(必 妥 当 性 ) 農業用施設の維持管理を地元へに依頼する事業であり、本町の歴史、文化、観光に大いに貢献している事業であり、町の活性化のためにも地元への補助を行いつつ事業継続をするべきである。	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
	◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有効性 農業用施設の保全により町の活性化に役立っており成果は発現している。	◎目標に対して成果は得られているか	1	-
	◎すでに目的は達成されていないか	2	-
効率性 農業用施設の維持管理が地元へに定着し、地元意識が発現すれば補助の必要はないと考えるが、まだ時間を要すると考える。また、町としてもそのような方向に地元住民を誘導する必要があると考える。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	1	-
	◎費用対効果が十分に認められるか	1	-
協働性 地元主体の事業であり可能性はある。	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	1	-
合計(最高18点)		14	-

※町補助をしている場合のみ記入

(公 益 平 性 性 性 ) 公共資産として整備された施設であり公益性がある。	◎公益性が高いか	1	-
	※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	1	-
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	1	-
合計(最高4点)		3	-
その他			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	今後の方向性	コスト			
		廃止	縮小	現状維持	拡充
◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	地域住民に農業、農村を理解していただくための事業として実施している、町が直接的に維持管理を業者に委託するとこのような金額ではとうてい無理である。			○	

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎補助金の性質にそぐわないので、継続ならば委託料で検討する必要がある。 ◎公共資産の維持管理上、適切な方法で管理していく必要がある。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	